



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度国際ロータリーテーマ

ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

Rotary



CHINO



茅野ロータリークラブ活動指針

「みつめ直そう！ひとりひとりがロータリー」

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

2015 - 2016 会長 矢崎 敏臣 幹事 加藤 宏治

Vol.28 1651 2016.2.10

会長挨拶

本日は茅野国際クラブのお話をしたいと思えます。昨年行いました、タイランシット校との交流事業にもご協力頂きました。

茅野国際クラブ、正式には「NPO茅野国際クラブ」といいますが、以前卓話の講師をご紹介頂いた、河西頼子さんが現会長さんです。発足は1987年で、発足してから29年が経過しております。来年で30周年を迎えます。実は私も茅野国際クラブのメンバーでして、当クラブの柳澤孝男さんもメンバーです。活動として有名なのは、茅野市の姉妹都市であるロングモント市との交換学生事業を行っており、最初から数えると約200名以上の茅野市の学生をショートステイさせている実績をお持ちです。他にも①外国人の健康診断のお手伝い、②外国籍市民との交流会、を事業として行っていることから、今後もロータリーとして相互協力出来るのではないかと考えております。

随分前になりますが、茅野国際クラブの事業で、信州大学の留学生を1泊ですがお泊めしたことがありました。その学生はベトナムからの留学生で工学部に所属されておりましたが、「夢は何か？」と私の両親にたずねられたのですが、それは「ベトナム語から日本語に直接変換できる翻訳機を作りたい」との即答でした。当時は一度英語に変換しないと直接変換出来なかったとのことでしたが、彼は国を背負って来ているのだな、と大きな感動したのを覚えております。

ロータリークラブには国際奉仕、国際交流の2つの委員会がありますが、是非他団体とも相互協力出来ればと考えております。

現在当クラブでは米山奨学生の王さんのカウンセラーを北原享さんに引き受けて頂いております。又、来年度は当クラブ会員桑澤一郎さんのお子さんである、桑澤太郎君がショートステイで海外に行く予定であります。当クラブでも全面的に協力致しますが、茅野国際クラブにもお声掛けをして頂ければ、来日する交換学生のお相手が出来るとは思わないかと考えております。



最後になりますが、昨年秋にタイの交換学生をサプライズで「CHUKOらんどチノチノ」に連れて行きましたが、大変喜んで頂きました。今後世界との交流が増々盛んになると思われますが、茅野ロータリークラブの高齢化が進む中、若い世代の皆さんと交流できる「仕掛作り」が大切ではないかと思えます。以上で会長挨拶と致します。

幹事報告

※別紙幹事報告書

卓話

「ミンダナオ島図書館事業について」

湯沢 正樹 様



茅野市中大塩在住。セイコーエプソン勤務の後、原村にブロッコリーを3haを栽培する専業農家。

『ミンダナオ子ども図書館』はフィリピンの現地NGO法人、地域の村に入っの絵本などの読み聞かせ活動、医療支援、就学支援、保育所支援、子どもシェルター、難民救援活動、植林活動などを行っている。

松居友さんの活動に共感して、実際に現地に行った時の活動を映像で紹介。

ミンダナオは世界で一番難民の数が多いと言われている。

「スカラシップの支援」は義務教育でも必要。難民の子供が多いので、奨学金は学校へ渡し、直接子供には渡さない。小学校は、義務教育なのに卒業するのは2分の1とか4分の1とか、である。奨学金なので、小学校から上に進むには試験がある。合否があるので見ていて辛い。これで人生が決まってしまう。

山奥に建設する「保育所」だが、なぜ「図書館」というと、必ず読み聞かせをするから。絵本を配って、食事を提供する。関心をもって頂けたら是非支援をお願いしたい。

ニコニコBOX

人数
25人
金額
28,000円

◎矢崎敏臣会長
◎北原重信会員
◎吉田克人会員

湯沢正樹様、本日の卓話よろしくお願いします。
湯沢さん、卓話よろしくお願いします。
湯沢さん、本日は講演よろしくお願いします。

出席報告

会員数 57名
出席 47名
出席率 82 %